

令和7年度「赤い羽根・物価高騰下のいのちをつなぐ支え合いキャンペーン」(第2次)  
助成申請書

令和7年 月 日

標記キャンペーン実施要項に基づき、下欄のとおり助成申請いたします。

法人・団体名	特定非営利活動法人 赤い羽根クラブ		
代表者職氏名	赤羽根 太郎		印
法人・団体所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 千葉県千葉市中央区千葉港 4-5		
TEL	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
メールアドレス	〇〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇		
設立年月	2015 年	4 月	職員数 10 名
主な活動内容	路上生活者などの生活困窮者への食糧支援、就職や自立に向けた支援や関係の専門機関の紹介を行っています。 ・路上生活者の見守り活動(月1回) ・専門機関との情報共有・連携会議(年3回) ・フードパントリーの実施(不定期開催)		

## 記

## 1. 助成申請額

助成申請額	500,000 円
-------	-----------

## 2. 担当者連絡先(上記と異なる場合のみ記入)

氏名	同上		
連絡先	住所		
	TEL		Mail
連絡の取れる日時	平日 9:00~17:00		

3. 申請概要

申請事業のタイトル	路上生活者への緊急支援事業
助成金活用の目的 (事業のゴール)	<p>〇〇地域では、他の地区に比べ路上生活者の人数が多く、また高齢化も進んでおり、体調を崩して危機的な状況に陥る人も少なくありません。当団体では毎月1回の声かけ運動を実施していますが、その際にお配りする食料だけでは足りず、また、病院に通院したい方の費用を工面することもできていません。</p> <p>助成をいただき、路上生活者の直近の困りごとを解決するための支援をするとともに、相談窓口を開設し、最終的には専門機関へのアウトリーチまでつなげ、住居の獲得と生活の安定ができるようになることが目的です。</p>
実施期間	2025年 12月 ~ 2026年 2月
事業の対象者 (想定人数)	〇〇市内の路上生活者 約●●人
申請事業内容	<p>スケジュールなどを含めて具体的に記入してください。欄が不足する場合は、別紙を添付してください。</p> <p>① 本事業の啓発と専門機関を紹介するチラシを作成する。また企業や関係団体から配布用の食糧の寄付を募る。</p> <p>② 週1回の路上生活者の見守り活動を行い関係をつくる。この際、食糧と一緒にチラシを配布することで専門機関の情報を提供する。</p> <p>③ 見守り活動で関係ができた路上生活者を関係機関に繋げるため、事務局での相談窓口を開設し来局を促す。相談内容からアウトリーチを目指す。</p> <p>2025年12月中旬 本事業の啓発・専門機関紹介チラシ作成、見守り運動時の配布品購入  12月下旬 週1回の見守り運動実施  2026年 1月上旬 相談窓口の開設、アウトリーチ活動開始  2月末 事業終了 成果報告</p>
申請事業の実施体制	<p>事業の体制や組織図、各担当者の役割と事業に関わる経歴を簡単に記入してください。</p> <p>代表 元障害者支援施設職員 社会福祉士  事務局 3名 うち1名は社会福祉士  その他 見守り活動のボランティア 8名  (介護福祉士1名・公認心理士1名)</p>
本助成金による活動であることを周知する方法	<p>団体ホームページでの記載、XとInstagramでの投稿、会報誌での助成事業の周知と報告を実施します。</p>

◆ 申請事業にかかる経費の内訳(総事業費)

経費項目	具体的な内訳・個数(概算)	総事業費(円)	内今回助成金(円)
消耗品費	食料品・飲料・筆記用具など	200,000	150,000
備品費	防寒毛布・相談窓口業務用バインダーなど	200,000	100,000
印刷製本費	本事業の啓発・専門機関の紹介チラシ(〇部)	150,000	150,000
通信運搬費	電話相談のための通信費(〇ヶ月)	60,000	60,000
旅費交通費	見守り活動交通費(〇人×〇回)	40,000	40,000
その他			
合計金額		650,000	500,000

↑下欄の資金内訳⑤と一致

※助成決定後、申請時に記載のない事業内容や物品購入に対しては助成対象外となる可能性があります。  
(事前に当会にご相談ください)

◆ 申請事業にかかる資金内訳

資金項目	金額(円)	【特記事項】
① 共同募金会からの助成金	500,000	
② 他からの補助金・助成金		
② 申請法人・団体の自己資金	150,000	
③ その他(参加費・広告料など)		
④ 合計	650,000	

↑上欄の総事業費合計金額と一致